



令和6年度 町政執行方針

令和6年3月11日、町議会3月会議が開催され、大鷹千秋町長が新年度のまちづくりの指針である町政執行方針を発表しました。

まちづくりの基本姿勢

令和6年日高町議会3月会議の開会にあたり、私の所信を申し述べさせていただきます、町民の皆様をはじめ議員各位のご理解とご協力をいただきたいと存じます。

ロシアによるウクライナへの武力侵攻に加え、中東ガザ地区での紛争が勃発し、世界の情勢は一層混沌としております。国内においても、元日から能登半島地震が発生し、いまだインフラが復旧していない地域があるなど、地震がもたらす災害の恐ろしさを改めて認識させられました。

私たちの生活環境では、世界情勢などを背景にした様々な物価の高騰が、引き続き住民生活に大きな影響を及ぼし続けております。

また、新型コロナウイルス感染症は5類感染症へ移行し、様々な行事が従来どおり開催されるようになったり、外国人観光客が急増するなどコロナ禍以前の姿を取り戻しつつあります。

こうしたように、依然として厳しい状況がある一方で、明るい見通しとなってきているものもあり、これらのことを念頭におきながら、第2次日高町総合振興計画の目標である「いきいきと働き、学び、安心と笑顔で暮らせるまち」の実現のため、各種施策に積極的に取り組んでまいります。

主要政策の推進

◎地域産業の振興

第一次産業を取り巻く環境

はじめに、第一次産業を取り巻く環境は、コロナ禍の影響は回復してきているものの、不安定な国際情勢を要因とする肥料・飼料・燃油を中心とした生産資材高騰の高止まりなどにより、生産者の経営状況は依然厳しく、地域の基幹産業を発展的に維持していくために必要な対策を見極め、国の事業などを活用しながら引き続き必要な施策を実施してまいります。

農業の振興

水稲や施設野菜などの耕種農業につきましては、一昨年より国において水田活用直接支払交付金がルール化され、水田の畑地化が推進されています。当町においては、交付金の対象農地が既に実質的に畑地化されているものが多く、耕作地の状況は大きくは変わらないと認識していますが、一時的な畑地化促進事業はあるものの、これまで長年にわたり続いてきた水田活用直接支払交付金の対象とならない農地が多くなることが想定されることから、農家経済の動向を注視してまいります。

このように不確定な状況もありますが、今後とも水稲の安定的な生産を図るとともに、施設野菜などは、一層高収益性の作目となる

よう施設整備への支援などに取り組んでまいります。

畜産業の振興

畜産業につきましては、酪農では乳製品の消費減少による実質的な出荷抑制や生産コストの上昇も加わり、酪農家の経営体力が削がれている状況が続いています。

また、肉用牛生産でも依然として生産費高騰が長期化していることや、市場相場の先行きも不透明感が強いことから、経営の維持に不安を抱く飼養農家も多いと推察しているところです。

酪農、肉用牛生産ともに厳しい状況が続いているところではありますが、関係機関と連携して消費拡大、販売収入の増大に繋げる努力を継続するほか、良質な生乳出荷のための機器導入に対する新たな支援や、規模拡大や省力化への取り組みに対しては、畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業等の補助事業を活用しながら、増収増益を目指した基盤整備への支援を続けてまいります。



新規就農対策

新規就農者につきましては、令和6年度も複数名が営農を開始する見込みとなっており、経営が軌道に乗るまでしっかりと支援してまいります。

また、担い手人材確保のため、引き続き地域おこし協力隊の制度などを活用しながら、新規就農者の育成を図ってまいります。

有害鳥獣対策

有害鳥獣対策につきましては、北海道及び日高管内各町と連携したエゾシカ・アライグマ等の有害鳥獣駆除の実施に努めるとともに、委嘱ハンターの活動に対する支援と農林業被害の縮小に必要な措置を継続してまいります。

軽種馬産業の振興

軽種馬生産につきましては、ここ数年、市場は好調を維持していますが、飼料価格の高止まり、担い手不足・労働力不足という課題も抱えています。生産対策では、令和5年度から競馬法の改正により競走馬生産振興事業が恒久化され事業内容の拡充や事業費の拡大が図られたところですが、今後とも馬産地として、オール日高で「強い馬づくり」「馬産地の維持・発展」「担い手不足対策」に関する要望を国・中央競馬会・地方競馬全国協会などに行うとともに事業のPRに努めてまいります。

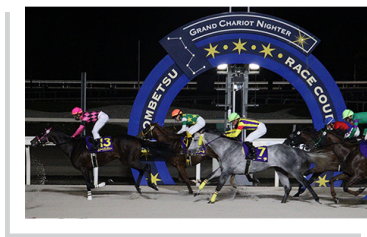
ホッカイドウ競馬の振興

ホッカイドウ競馬につきましては、関係者の様々な取り組みによりまして、発売額は、4年連続で500億円を超える結果となり、11年連続の黒字決算見込みとなるなど好調を維持しています。

令和6年度の開催は、4月17日の開幕から11月7日までの84日間を予定しています。

令和6年度も、第5回JBC2歳優駿（JpnⅢ）が門別競馬場で開催されることが決定しており、他のレースが開催される佐賀競馬場とともに、日本の北と南から、全国の競馬ファンに向けダート競走の魅力が発信されることを期待しています。

また、これまで課題であり念願であった門別競馬場の改修事業が本格的にスタートします。厩舎の全面移転にはじまり、業務施設の整備、住居の新築と続くものですが、町としても事業の円滑な推進に積極的に協力してまいります。



林業の振興

林業につきましては、日高町森林整備計画に基づき森林の持つ多面的・公益的な機能が十分に発揮されるよう、町有林においては森林環境保全整備事業等による間伐などの保育事業を計画的に実施してまいります。

また、民有林につきましては、豊かな森づくり推進事業や日高町森林整備推進事業の活用を促進し、更新時期を迎えた未整備森林所有者へ適切な森林施業の実施を勧奨するとともに、令和6年度から賦課される森林環境譲与税を有効活用して、地域林業の活性化に努めてまいります。

漁業の振興

漁業につきましては、漁獲量・漁獲高とも回復傾向にあります。依然として地球温暖化の進行による海水温上昇が主な要因とされる主要魚種の不漁が続いていることや、燃油・漁具の高騰が長期化していることから、漁業経営も厳しい状況であります。漁獲魚種の変化などは、自然環境が大きく変わってきたことによるものであり、対応は難しいものであります。引き続き関係機関と連携し、水産資源の増殖による資源の確保など、漁業経営の安定に資する施策を継続してまいります。

また、令和3年に発生した赤潮被害についても実態が解明されていないため、国の調査事業がさらに継続される見通しとなっており、町としても支援を続けてまいります。

商工業の振興

商工業につきましては、令和6年度も原油価格高騰の影響を大きく受け厳しい経営状況を余儀なくされている町内事業者の経営の安定と継続のため、引き続き経営資金支援制度を実施するほか、日高町商工会の運営を支援することにより、組織基盤の強化を図ってまいります。

ふるさと納税

ふるさと納税につきましては、返礼品の充実を図りながら、特産品のPRを行い、ふるさと納税の増収に努めてまいります。